

# Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



播州織の見本市「播州織総合素材展2016」が開催され、西脇市や多可町などの20社1団体1グループが参加（2月23日～24日、神戸市中央区・ポートピアホテル）



緑花祭&環境・健康ふれあいまつりを開催。エコポイント・健康ポイントの抽選会や展示体験ブース、飲食ブースに多くの方が来場（3月6日、茜が丘複合施設Miraie）



全国へそのまち協議会加盟8市町村の特産品を集めた「へそのまち物産フェア」を開催（2月27日～3月6日、北はりま旬菜館）



関西学院大学の学生と本市若手職員が「2040年の西脇市が目指すべき姿」についての施策を提言書にまとめ、片山市長に提出（2月29日、西脇市役所）

## 全国で活躍の小中学生に絆（つむぎ）賞を贈呈

〔3月4日 生涯学習まちづくりセンター〕



絆賞を受賞された4個人・2団体の皆さん

市教委では、スポーツや文化等の分野で優秀な成績を収めた市内小中学校の個人・団体に対して、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」をお贈りしています。今年度は野球、陸上、バレーボール、美術などで活躍した4人2団体を表彰し、その栄誉をたたえました（受賞者名は20ページに掲載）。

## 関西学院大学と包括的連携協定を締結

〔3月2日 西脇市役所〕



連携協定に調印した片山市長と柳屋孝安・関西学院大学副学長

西脇市は活力ある地域社会の形成や大学の教育・研究に寄与することを目的に、関西学院大学と包括的な連携協定を締結。まちづくり、福祉、産業、教育などの幅広い分野で協働していきます。4月からは片山市長や市職員が関学キャンパスで教べんとするほか、西脇市内で実地研修などが行われます。

## 橋幸夫さんが認知症について講演

〔2月28日 市民会館大ホール〕



母の介護体験を交えて認知症について語る橋幸夫さん

橋幸夫さんを講師に、「介護・家族・人生を見つめて、温もりの架け橋」と題して認知症に関する講演会を開催。橋さんは母の介護体験から「認知症は脳の老化による病気。おかしな言動が見られても人格やこれまでの人生を否定せず、やさしく寄り添うことが大切」とユーモアを交えながら語りました。



上) 1位でゴールテープを切る西脇工・7区の大西峻平選手  
下) スタートで先頭争いを繰り広げる女子選手たち

西脇工男子が優勝―西脇多可新人高校駅伝大会  
〔2月21日 アピカ西脇多可町・ベルデイホール〕

多くの運営スタッフに支えられ、第8回西脇多可新人高校駅伝競走大会が開催されました。男子は西脇工業高校が第1回大会以来となる7年ぶり、女子は大塚薫英女学院が2年ぶりに優勝。

西脇工業女子はわずかと及ばず第2位でした。また、今回は第1回北はりま中学生ロードレース大会も同時開催され、中学生ランナーもさわやかに播州路を疾走しました。



日産自動車株式会社から3年間無償で借り受ける電気自動車「e-NV200」

## 電気自動車を無償で借り受け

〔2月25日 西脇市役所〕

日産自動車株式会社から期間限定で電気自動車1台が無償貸与されることになり、引き渡し式がありました。同社の電気自動車の普及啓発や地球温暖化対策を目指して取り組む「EVをもっと身近に！プロジェクト」/電気自動車活用事例創発事業の一環。西脇市ではこの電気自動車を公用車として使用するほか、災害時の電力供給を想定した防災訓練などに活用していきます。



研修会後の交流会。西脇高校生らが学生にいろいろと質問するなど参加者同士が活発に交流

## 服飾について学ぶ若手研修会

〔2月19日 西脇ロイヤルホテル〕

西脇ファッション若手研修会・交流会が開催され、播州織業界の若手従業員や西脇高校生、服飾関係の専門学校生など約70人が参加しました。研修会ではテラーとして有名な有田一成さんを講師に招き、服飾に携わる上での心構えや意識の持ち方について学びました。有田さんは自身の体験談を交えながら「時間がかかっても丁寧な仕事をすることが大切」と話しました。

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！